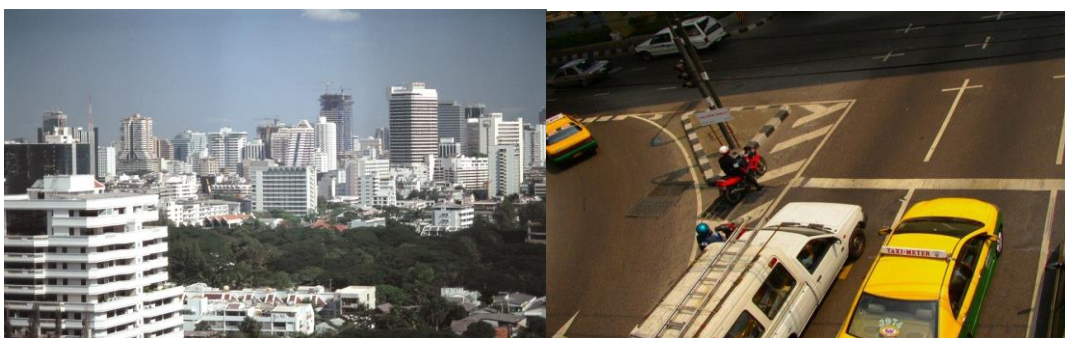


タイに進出する際の基礎知識③「FS 調査と進出拠点」



タイ進出の際、FS（フィジリビティスタディ＝実行可能成）調査は非常に重要です。

タイの経済概況や進出方法などは、インターネット上に多くの情報があり、その情報を元に、岡山県タイビジネスサポートデスクに相談することをお勧めいたします。

日本と異なる商習慣、人種、文化、歴史、宗教などのカントリーリスクを考え、まず初めに、海外展開において、進出する際の前提条件となる「実現可能な目的と目標」や、現実的な事業・財務計画を作成します。

その後、事業・財務計画に無理がないのかどうかを見極めるため、現地視察を行います。視察については、独自に計画することよりも、岡山県タイビジネスサポートデスクや、駐在員事務所又はタイの銀行に行員を派遣している地元銀行などに相談しながら計画することをお勧めします。

拠点については、バンコクで多数存在する小さなレンタルオフィスからスタートすることも有力な選択肢です。バンコクの公共交通機関沿線には、秘書や窓口サービス、インターネット、コピー機などを用意している日系、外資系などのレンタルオフィスが多数あり、PC一つで業務を開始することが可能です。レンタルスペースは、一人から複数人対応まで多様なラインナップになっており、一週間又は一カ月単位でレンタルが可能です。

なお、通常のオフィス賃借の場合、内装工事費用や保証金が必要なうえ、オフィスの契約期間（多くの場合3年）内に引っ越しをした場合には、保証金の返却もありません。

製造拠点の設置を検討する場合、工業団地が充実している点も魅力の一つになります。タイには、60カ所以上の工業団地やそれに近い集積地があります。工業団地の所有者は主

に、タイ工業団地公社 (IEAT) と民間企業との合弁、IEAT の単独所有、民間企業の単独所有、と大きく 3 つに分けることができます。

工業団地の英語表記から IEAT 所有か民間企業所有かが分かります。

Industrial Estate	IEAT 所有
Industrial Park, Industrial Park	民間企業所有

いずれの工業団地においても、電力、水道、排水処理、廃棄物処理など工業稼働に必要なインフラは整っており、また空港、港湾などへのアクセスも整備され、物流会社の競争も激しさを増している現状から、工業団地への製造拠点の設置も依然として有力な選択肢の一つと考えられます。

【岡山県タイビジネスサポートデスク】

<<日本国内デスク (株式会社アークビジネスサーチ内) >>

【所在地】: 東京都千代田区神田小川町 1-11-8 大竹ビル7階

【担当者】: 志賀 敦 (しが あつし)

<<タイ/バンコク現地デスク (ARK ENTERPRISE CO., LTD. 内) >>

【所在地】: 138 Boonmitr Bldg., 3rd Floor, Rm. A2, Silom Rd., Suriyawong, Bangrak Bangkok, 10500 Thailand

【担当者】: 福田 淳 (ふくだ じゅん)

※「岡山県タイビジネスサポートデスク」では、岡山県内に事業所を有する企業や経済団体等のタイでの事業展開を支援しています (岡山県からの委託業務)。ご利用にあたっては、[「岡山県タイビジネスサポートデスク」利用の手引き](#)をご覧ください。また、[岡山県産業企画課マーケティング推進室](#) (086-226-7365) までご相談ください。

※本レポートは岡山県内企業のタイでの事業展開の一助とするため作成されたものであり、サポート対象に該当しない個別のお問い合わせには対応しておりません。